

第3回 U-40企画セッション

若手循環器医の6つのストーリー 若手として、そして先輩として

日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ委員会U-40部会は、
今回「多様性」の1つの形として「関東甲信越地区の地域ごとの現状」に着目し、
様々な地域の先生方にそれぞれのキャリアのストーリーや施設の魅力、
推しポイントを紹介いただくセッションを企画しました。
一言で循環器科と言ってもどこも同じじゃない！
循環器科を志す学生、研修医や若手医師、そしてもちろん
ベテラン医師の皆さまも奮ってご参加下さい。

2023年

2/25^土 sat

13:20~14:50

ステーションコンファレンス東京
5階 503CD(第I会場)

座長

播磨 綾子

(国立公務員共済組合連合会
虎の門病院 循環器センター内科)

星加 優

(博慈会記念総合病院 循環器内科)

演者

地方における循環器内科医の
魅力と課題

能見 英智

(信州大学医学部附属病院
循環器内科)

筑波大学循環器内科の
若手勧誘の取り組み

小松 雄樹

(筑波大学附属病院 循環器内科)

群馬県の循環器診療

反町 秀美

(群馬大学医学部附属病院
循環器内科)

当院での診療の実態と
研修医への勧誘の取り組みについて

渡邊 諒

(獨協医科大学病院
心臓・血管内科/循環器内科)

当科若手医師の現状と
今後に向けての取り組み

鈴木 紀子

(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)

1医局員としての
若手循環器内科医のキャリア
—新内科専門医第1世代として—

伊藤 諒

(横須賀共済病院 循環器内科)

